

第54回農林水産祭

第54回農林水産祭。
「実りのフエスティブアル」

第54回農林水産祭各部門天皇杯受賞者のパネル展示

農林水産祭は農林水産業と食に対する国民の皆さんの認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるために、農林水産省と公益財団法人 日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施しています。

また、過去1年間の農林水産祭参加表彰行事において農林水産大臣賞を受賞した者から、優秀な農林水産業者に対し、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の授与を行っています。

各賞は、農産部門、園芸部門、畜産部門、蚕糸・地域特産部門、林産部門、水産部門、むらづくり部門の7部門に授与されます。さらに、女性の活躍が著しい2点に対して、内閣総理大臣賞と日本農林漁業振興会会長賞が授与されます。

これらの各賞は、過去1年間(平成26年8月～平成27年7月)の農林水産祭(293件)において、農林水産大臣賞を受賞した491点の中から決定され、林産部門では、天皇杯は、中国木材株式会社 鹿島工場(茨城県神栖市)、内閣総理大臣賞は、山崎保氏、山崎佳代氏(三重県多気郡多気町)、日本農林漁業振興会会長賞は、永田晶三氏(奈良県吉野郡下市町)が受賞しました。

併せて、11月13日(金)から11月14日(土)には、啓発関係行事としてサンシャインシティワールドイ

天皇杯等三賞受賞者(林産部門)

■内閣総理大臣賞
山崎 保・山崎 佳代 夫妻
三重県多気郡多気町



夫妻は昭和46年から家業の椎茸栽培を継ぎ、原木しいたけの理解の促進や環境への配慮等地域の先導的役割を果たしております。

また、直接販売による固定客の増加や6次産業化、荒廃山林の購入・管理による地域の広葉樹林の整備の推進等、地域へ貢献しています。

■天皇杯
中国木材株式会社 鹿島工場
(代表 堀川 保幸)茨城県神栖市



昭和28年に創業した同社の、原木の直接仕入から、製材、乾燥、集成、プレカット、バイオマス利用の一貫した生産加工システムと、合理的な物流システムは森林に高い経済的価値を与えています。

また、国内の林業の活性化に繋がる国産材の利用拡大を通じての森林整備、環境保全にも貢献しています。

■日本農林漁業振興会会長賞
永田 晶三
奈良県吉野郡下市町



林業経営のなかで「人づくり」を重視して、職場づくりに取り組み、若い林業技術者を確保・育成するとともに、技術の継承を継続的に実施しています。

また、自己所有山林周辺の森林所有者と連携して森林経営計画を積極的に作成、地域林業の発展に大きく貢献しています。



林野庁ブースでカートカンの説明



展示品の木製品で遊ぶ子ども達



森のめぐみ「きのこ」をPR

ンポートマーケットビル(東京都豊島区)において「実りのフェスティバル」が開催されました。

「実りのフェスティバル」では、第54回農林水産祭各部門の天皇杯受賞者のパネル展示のほか、林野庁からは「木づかい運動」、「木の良さ」、「木育」などのパネル・ポスターや、国産材を使った木の食器やおもちゃなどの展示を行いました。ブースには親子連れなどが多数訪れ、木製品の香りや手触りなどを実際に体験していました。

また、省内の各部局からは、農林水産業施策の紹介がされたほか、各都道府県や農林水産団体のコーナーでは、郷土の特産物の展示、販売等に注目が集まっていました。さらに、会場には全国各地の人気ゆるキャラ達が応援に駆けつけ、イベントを盛り上げました。

●平成27年度(第54回)農林水産祭天皇杯等の選賞について(農林水産省HP)
<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/hodo/151021.html>



賑わいを見せる都道府県のコーナー